

布教所移転鎮座祭

此の新たな神床を払い清めて 今し厳かにお遷し申しお鎮め
申しました 国常立命 面足命 国狭土命 月読命 雲読命 惶
根命 大食天命 大戸辺命 伊坐諾命 伊坐冊命なる親神天
理王命の御前に慎んで申し上げます

親神様には朝な夕な私達子供の上に親心深くお働き下され
洵に感謝の念に堪えません 殊には〇〇市〇〇町一二三番地
△△荘内に開設された△△△△布教所に於いては 先になり後
になり或いは表に出 或いは陰にありてその匂いがけお救け
の道をお連れ通り頂きましたが 所長夫妻には三人の我が子
を戴いたばかりでなく 講社を始め修養科終了のよふぼくな
ど理の子も次々とお与え頂き 心より御礼申し上げます

この度親神様の奇しきお計らいにより ここ△△市△△四
四番地の一なる独立家屋に恵まれ 思召し下さるおつとめも
つとめ易くなり 一切の移転手続きも恙なく完了致しました
そこでこの月〇日の今宵 神実様を只今遷座し鎮座させて頂
きました 今後は益々親神様の御教を人生行路の定規とし羅
針盤とし お望み下さる陽気ぐらしのあり方を教祖五十年の
ひながたの中に見つめ いや／＼／迫って参りました教祖年祭
の仕上げの御用の上にも精一杯心を注ぎ それ／＼の心定め
をつとめ上げさせて頂きたいと念願致しておりますが どう
か元一日を振り返りながら新しい意欲に燃えてここ△△△△から
再出発を誓う△△△△布教所を通じてなされる世界一列の救け
の上には倍旧のお力添えをお与え下され 布教所の内容の充
実は申すまでもなく 講社を始めよふぼく信者の方々の上に
も いや／＼／一手一つの陽気が漲り 近き将来名称の理をお
与え頂く稔りの喜びを味わい得ますよう親心深くお連れ通り
の程を一同と共に慎んでお願い申し上げます